



2024-25年度 第2650地区スローガン

持続可能なロータリーに！共に学び、共に行動

Make Rotary Sustainable ! Learn together Act together

会長	池木 啓仁
副会長	中井 謙之
幹事	丸野 正徳
会報・資料委員長	杉村 喜之

第2650地区 [1961.3.28創立]

YAMATOTAKADA ROTARY CLUB

クラブHP <http://yamatotakadarc.org/> アドレス ytrotary@abelia.ocn.ne.jp

地区HP <http://rid2650.gr.jp/> Facebook <https://www.facebook.com/yamatotakada.rc/>

例会日時：毎週火曜日 12時30分 例会場所：経済会館 3階大ホール

事務所：〒635-0095 大和高田市大中 106-2 経済会館 4階 TEL 0745-52-4366 FAX 0745-23-3823

第9回(通算3008回)2024年(令和6年)9月17日号

本日の例会(9月17日)

小説家 第9回ポプラ社小説新人賞受賞
夏木志朋 様

次回の例会(10月1日)

第1回クラブフォーラム(クラブ奉仕)

9月10日の例会報告

会長の時間

先週の中本勝ガバナー公式訪問に際しまして、皆様のご協力をいただき、本当にありがとうございました。無事に終えられたことに感謝とお礼を申し上げます。中本ガバナーよりお札状をいただいておりますので、紹介させていただきます。

「平素はロータリー活動や運営に格別のご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。さて、9月3日のガバナー公式訪問に際しましては、会長池木啓仁様、幹事丸野正徳様をはじめ、多くの会員の皆様には心温まる歓迎を賜り、厚く御礼を申し上げます。公式訪問を通じて、会員の皆様と親しく交流を図ることができ、有意義な時間を過ごすことができましたことを大変うれしく思っております。ロータリーの原点は、我々が自ら、職業を通じて世の中に奉仕をし、周りの人が幸せになるよう努力することにあります。この原点を忘れることなく活動することこそが、ロータリーを持続可能なものにするというふうに考えています。貴クラブにおかれましても、各会員各位が大いにロータリーを楽しんでいただき、今後一層ご活躍されますことをご祈念申し上げ、御礼のご挨拶とさせていただきます。」

微力ながらも奉仕を通して、皆さんと一緒に一步前への精神で頑張ってまいりたいと思います。

幹事報告

◎第3回定例理事会のご報告

1. 職業奉仕委員会事業について 承認
2. 奈良犯罪被害者支援センター会費納入の件 承認
3. 米山奨学会米山記念館コーポレーター会費の件 承認
- ◎中本勝ガバナーよりお札状をいただいておりますので、回覧させていただきます。

ゲスト

真篠 剛様(一般財団法人ワンネスディレクター)

ビジタ一

杉田 博様(日本ロータリーEクラブ2650)

誕生日祝

射場祥行会員(9月12日) 垣本喜己会員(9月16日)

創業記念日祝

中井隆男会員(9月12日) 中井俊之会員(9月12日)
吉田泰清会員(9月16日)

委員会報告及びその他報告

○ご案内

日本ロータリーEクラブ2650 杉田 博会員
お久しぶりです。私が大和高田RCからEクラブへ移籍したのが2011年、東日本大震災の年でした。それからもう13年になります。本日ご案内するのは、10月13日にEクラブが行います京都平和コンサートについてです。会場は北山駅から南へ二、三分のところにございます。第1部は、我々のクラブの会員である、京都大学准教授のイタリア人の方から平和についてのご報告がございます。もう一人、財団奨学生から現地ウクライナの情報についてお話しいただきます。第2部は、愛知県の岡崎市を中心として活動する合唱団に、なつかしい歌、平和を祈る歌を歌っていただきます。午後1時半から約3時間のコンサートを開催いたします。

○会報・資料委員会

先週、第6回週報の修正版を発行いたしましたが、また間違いがございました。申し訳ございません。

○新庄地区情報集会

本日、情報集会を西大和さえきで6時から行います。ご参加の程どうぞよろしくお願ひいたします。

○高田地区情報集会

西田陽昭世話人
10月8日(火)午後18時よりヴェルデ辻甚で情報集会を開催いたします。ご参加をお願いいたします。

○社会奉仕委員会

吉岡弘修委員長
9月17日(火)例会終了後、委員会を開催いたしますので、委員の方はお残りください。

○長期ビジョン検討委員会

村井善治委員長
本日、65周年事業に関するアンケート用紙をポスティングしております。当クラブは次年度、65周年を迎�니다。5年に一度、周年事業を行なうことが定款・細則で決まっておりましたが、2021年度にその細則が廃止され、長期ビジョン検討委員会で諮ることになっております。奈良県の他のクラブでは中止や縮小傾向にあります。アンケート結果を踏まえまして、10月1日の長期ビジョン検討委員会を例会終了後、4階にて開催いたしますので、関係者の方は必ずご出席いただきますようお願いいたします。

○香芝地区情報集会

垣本喜己世話人
9月17日(火)17時から卯之庵で情報集会を開催いたしますので、ご参加よろしくお願ひいたします。

4つのテスト【言行はこれに照らしてから】

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

○趣味の会委員会

第1回趣味の会ゴルフコンペを万壽ゴルフクラブで9月18日(木)に開催します。また、奈良県下RCゴルフコンペが奈良国際ゴルフ倶楽部で、11月13日(水)8時からスタートで開催されます。ご参加よろしくお願いいたします。

○国際奉仕委員会

来年の6月21日から25日にカナダのカルガリーで国際大会が行われます。クラブで参加するかどうかのアンケートを回しますので、9月末までにご回答をお願いいたします。10名以上の参加希望があれば実行いたします。

ニコニコ箱

・先週のガバナー公式訪問に際し、会員皆様のご協力に感謝とお礼を申し上げます。池木啓仁会員
・先週の中本勝ガバナー公式訪問では皆様にお世話になりました。真篠剛様、ようこそ当クラブへ。

丸野正徳会員

・久しぶりです。今日、Eクラブのコンサートのご案内に参りました。

日本ロータリーEクラブ2650 杉田 博様

・誕生日祝を頂いて。 垣本喜己会員

・結婚記念日のお花、ありがとうございます。

伊森隆教會会員

・早退のお詫び。 清水良彦会員

卓話 「生き直しの応援」

一般財団法人ワンネスディレクター

真篠 剛 様

私は普段、大和高田市にあるワンネス財団の事務所で働いております。20代、30代の頃は東京で演劇活動や劇場運営に携わっていました。この仕事をすることになったきっかけは、実は私自身も依存症の経験者だったからです。依存症には、ギャンブルやアルコール、ゲーム、最近だとホストの依存症などがあります。私はギャンブル依存症でした。皆さんと違い適度にコントロールすることができませんでした。自分自身を傷つけながら、周囲を巻き込みながら、借金をどんどん繰り返していました。その結果、家賃を滞納してホームレス状態になり、当時働いていた会社のお金を横領して解雇になりました。それが30代の前半でした。とてもみじめで、自分のことが嫌いな状況でした。そこから自分を見直して立ち直ることができたのは、応援者、理解者、居場所があったおかげです。

財団の使命は、「孤独の解消と自己実現」「生きがいを持った生き直し」です。事業内容は大きく分けると3つになります。1つが福祉施設等の運営です。支援対象は、依存症を抱えた方、精神疾患で会社を休職・退職された方、軽度の知的障害の方、ひきこもりの方です。奈良県・大阪府にある30か所の施設でカリキュラムを受けておられます。

2つ目が相談・啓発活動です。相談窓口の設置、各自治体や学校、小学生向けの啓発のパンフレットの配布などをしております。

3つ目は再犯防止・犯罪予防です。刑務所や少年院から出てきた方々の支援をしています。刑務所を出ても行き場のない方、身寄りのない方がいらっしゃいます。累犯をされますと家族の支援も途絶え、



高齢化すると戻る場所もなくなります。法務省から委託を受けて、自立準備ホームを奈良県、大阪府、沖縄県で運営しております。全国の刑務所にポスターを貼っておりますと、受刑者の方から毎日たくさんのお手紙を頂きます。

ウェルビーイングという言葉をご存じの方も多いと思います。一言で言うと、幸せな状態といった意味です。心と体、そして社会的なつながりが満たされていると、人は幸せを感じると言われています。アメリカの研究によりますと、ウェルビーイングな状態であると、生産性が31%、創造性が3倍に増加し、病欠率が66%、離職率が51%減少します。

我々が大切にしていることに、まずは心理的安全性、つまり、いろんなこと、ありのままのことを話せるような場、関係、きっかけを作ることがあります。犯罪行為や依存症を繰り返す方は、住む場所、食べるもの、お風呂に入ることが満たされません。まずはそこを満たすと、次にいろんなことが出てきます。それは、感情的な、何か不満であったり、喜びであったりします。まずはこの居場所というのがとても重要なキーワードになります。

次に、応援し合えるカルチャーです。人は欠点を指摘しがちですが、誰かのいいところ、強みに注目し、応援し合えるカルチャーを作っています。

あとは、感情を知ること、表現することです。様々なカリキュラムを通して行っていますが、沖縄ではホースセラピー、馬を通した支援もしております。

問題行動の欲求の抑制ではなく、まずは心と体の健康の増進を図ることで、幸せであれば犯罪衝動につながらないというようなアプローチをしています。

施設で元気になって、その後に地域でアルバイトをしながら、正社員としてアパートを借りて卒業していくという流れですが、社会復帰の際、何回も刑務所に行った方はなかなか仕事を得るのが難しい状況です。一方で、全国の企業様から雇用の協力をしたいというご登録もいただいております。

刑務所から来た方や依存症だった方に対する偏見もあるかと思いますが、毎日接している私から見ますと、そういう方々にはまじめな方が多いという印象です。だからこそ、自分をぼろぼろになるまで追いかんでしまったということなのです。

とはいえ、一般的の働き口が難しいという面もありますので、我々自身も三重県伊賀市ではイチゴを生産したり、沖縄県南城市ではバニラの生産を行い、雇用の創生を行っております。去年は伊賀市のふるさと納税の返礼品にも採択されるなど、実際に食べておいしい品質となっております。

また、ご家族や雇用主向けの支援もしております。本人ではなく、ギャンブルでお金を使い込まれてしまったというご家族や雇用主の方からご相談を受けることもあるからです。

地域がウェルビーイングであれば、犯罪・再犯は減っていきます。自分なりの居場所を得て、自分自身の幸せに責任を持つことで、幸せな状態がどんどん増えていくのではないかと考えております。

企業経営者の皆様におかれましても、ご興味をお持ちいただければ、随时、施設見学等を受け付けておりますので、社会復帰にご協力いただけますと幸いです。本日は貴重な機会をいただき、ありがとうございました。

出席報告	会員 総数	出席 義務 会員 会員 出席数	義務 会員 出席数	義務 会員 欠席数	義務 会員 MU	出席 免除 会員 会員 出席数	免除 会員 出席数	免除 会員 MU	出席率
9月10日	91	58	51(0)	7	0	33	26	0	91.67%
9月3日	91	58	52(0)	6	2	33	26	0	95.24%
8月27日	91	58	53(0)	5	1	33	26	1	95.29%

()内の数字はWEB出席者数内訳